

いない。本地でも生息する個体数はあまり多くないようである。

末筆ながら、本種についてのご教示を賜った今坂正一氏と森田誠司氏にお礼申し上げる。

#### 引用文献

- Habu, A., 1975. Carabid beetles Mr. A. Sugimoto taken in Ishigaki Is., Ryukyus, by a black-light trap (Col. Cara). Entomological Review of Japan, 28 (1/2): 69-84.
- Satō, M., Morita, S., Ohbayashi, N., Kimura, M., Sakai, M., Notsu, Y., Kaneno, S. and Hori, Y., 1994. The insects fauna of the Tokara islands of the Ryukyu archipelago. WWF Japan science report, 2 (2): 251-309.

(深川元太郎 859-2212 長崎市畝刈町 1613-262)

#### 【短報】ハネカクシ科3種の採集記録

柴田(1985)および柴田ほか(2013)を参考に、ハネカクシ科の1追加記録, 2新分布記録を報告する。

##### 1. オキナワデオキノコムシ *Scaphidium okinawaense* Hoshina & Morimoto

1ex., 沖縄県沖縄島名護市名護岳, 27. III ~ 1. IV. 2007, 筆者採集。

名護岳登山口付近林内の比較的平らな所に, 3基のFITと乾燥した鳩, 犬の糞を27. III ~ 1. IV. に設置したところ, 多くの糞虫とともに本種が入っていた。翌年も, 5月11-17日に同じ場所に10基のFITを同じように掛けたが追加できなかった。図鑑類には掲載されていない種であるが, 保科(2006)により同定できた。本種は沖縄島特産で3頭目の記録になる。

##### 2. オオハネカクシ *Creophilus maxillosus* Linnaeus

1ex., 鹿児島県徳之島天城町轟, 21. VI. 2006, 筆者採集。



図1-3. ハネカクシ科3種。1, 名護岳産オキナワデオキノコムシ; 2, 徳之島産オオハネカクシ; 3, 屋久島産キンボシマルズオオハネカクシ。

分布: 北海道, 本州, 伊豆八丈島, 四国, 九州, 屋久島, 奄美大島, 徳之島(新分布), 沖縄島, 伊平屋島, 石垣島, 西表島; シベリア, 台湾, 韓国, 北朝鮮, 中国, インド, ハワイ, ヨーロッパ, 北アフリカ, アメリカ。

道路沿いの蛇の死体にきていた。

##### 3. キンボシマルズオオハネカクシ *Oocyptus weisei* Harold

1ex., 鹿児島県屋久島平内, 3. IV. 2010, 向山敬延採集.; 1ex., 屋久島原, 11. VII. 2013, 同採集。

分布: 北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬, 屋久島(新分布); 韓国, 北朝鮮, 中国。

この2個体とも奈良市春日山産と比べて, 上翅の金色紋は小さく, 黒色の胸背には金色毛がない。

いつも標本を提供してくださる向山敬延氏, 文献でお世話になった今坂正一氏と杉野廣一氏にお礼を申し上げる。

#### 引用文献

- 保科英人, 2006. 琉球産鞘翅目ハネカクシ科デオキノコムシ属概説. 甲虫ニュース, (155): 11-14.
- 柴田泰利, 1985. ハネカクシ亜科. 上野俊一ほか編著, 原色日本甲虫図鑑 II: 302-304, pl. 53. 保育社。
- 柴田泰利ほか, 2013. 日本産ハネカクシ科総目録(甲虫綱: 甲虫目), 九州大学総合研究博物館研究報告, 11: 124, 171-172.

(田中 稔 663-800 西宮市一里山町 19-18)

#### 【短報】ナカネアメイロカミキリ隠岐諸島の記録

島根県隠岐諸島から記録のあるカミキリムシ科甲虫は, 林・門脇(2012)によれば150種にも及ぶ。この種数から, 隠岐は本州属島のカミキリムシ科としては非常に高い種多様を示すとともに, 精度高い調査が行われてきたことを伺い知ることができる。2013年夏に, 隠岐島前で養老孟司博士が採集されてきたカミキリムシの標本を調べたところ, 過去に記録のないナカネアメイ



図1. 隠岐島前で採集されたナカネアメイロカミキリ(♀)。

ロカミキリ *Obrium nakanei* Ohbayashi, 1959 を確認することができた。隠岐 151 種目のカミキリムシの貴重な記録として以下に報告する。

貴重な標本を提供された養老孟司博士ならびに隠岐諸島の甲虫類に関する文献をご教示された林成多博士にお礼申し上げる。

検視標本：1 ♀，島根県隠岐島前焼火山，2013 年 7 月 18 日，養老孟司採集（新里達也保管）。

本種は日本固有で，北海道，奥尻島，本州，四国および九州に分布する（新里，2007）。奥尻島が唯一の島嶼の産地として知られていたが，隠岐はそれに続く 2 番目の島嶼産地となる。本種の幼虫はハリギリ（ウコギ科）の生木樹皮内に穿孔するため，成虫はその樹幹部で活動する個体が見つかることが多いが，ときに花や灯火に飛来することもある。本個体は叩き網により採集されたとのことだが，一般に高所生活者でかつ特異な生態の本種が，地表付近のランダムな採集で得られたという事例は珍しい。

#### 引用文献

- 林 成多・門脇久志，2012. 隠岐諸島の甲虫類目録（1930–2011）. ホシザキグリーン財団研究報告特別号，(5)：1–120.  
 新里達也，2007. カミキリ亜科（図解検索と種の解説）. 大林延夫・新里達也（編），日本産カミキリムシ，pp. 252–281，424–512. 東海大学出版会，秦野。

（新里達也 株式会社環境指標生物）

#### 【短報】先島諸島におけるヒラナガゴミムシ属2種の採集記録

これまで先島諸島において，ヒラナガゴミムシ属 *Hexagonia* は，チャイロヒラナガゴミムシ *H. sauteri* Dupuis, 1912，ヒトツメヒラナガゴミムシ *H. cyclops* Matsumura, 1910，ワタナベヒラナガゴミムシ *H. watanabei* Morita & Toyoda, 2002 の3種が記録されている。それらのうち，チャイロヒラナガゴミムシおよびワタナベヒラナガゴミムシについて，これまで分布の記録がない島から採集しているので，ここに報告する。なお，採集者はすべて野一色麻人である。

##### 1. チャイロヒラナガゴミムシ *Hexagonia sauteri* Dupuis, 1912

5exs., 宮古島平良, 18. XI. 2012.

本種は沖縄本島，石垣島，西表島，与那国島に分布し，国外では台湾に分布する（沖縄防衛局，2012; 屋富祖ほか，2002）。今回，宮古島中央部に



図1. ワタナベヒラナガゴミムシを採集した与那国島の湿地。

位置する二次林において，林縁に生育していた草丈 1～2m 程度のアダンの葉鞘間から本種を採集した。

##### 2. ワタナベヒラナガゴミムシ *Hexagonia watanabei* Morita & Toyoda, 2002

2exs., 与那国島久座（くだ），21. XI. 2012.

本種は沖縄本島，石垣島，西表島に分布する。成虫は湿地に生育するスゲ属の一種あるいは山地のツルアダンの葉鞘間に生息する（Morita & Toyoda, 2002）。今回，与那国島中央部に位置する河川中流の小規模な湿地（図1）にて本種を確認した。湿地にはスゲ属の一種，タチアワユキセンダングサなどの小型湿性草本が優占していた。本種は草丈 50～80 cm 程度のスゲ属の一種の葉鞘間から採集した。

末筆ながら，ワタナベヒラナガゴミムシに関する文献をご惠贈下さった森田誠司氏に厚く御礼申し上げます。

#### 引用文献

- Morita, S. & Toyoda, K., 2002. A new *Hexagonia* (Coleoptera, Carabidae) from Southwest Japan. Special Bulletin of the Japanese Society of Coleopterology, No. 5 Nabesania: 175–180.  
 沖縄防衛局，2012. 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書資料編「第6章 6.17 陸域動物」：資 6–17–69. URL <http://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/07oshirase/shotatsu/hyoukasyo/174.pdf> (2014 年 4 月 5 日アクセス)  
 屋富祖昌子・金城政勝・林 正美・小濱継雄・佐々木健志・木村正明・河村 太（編）東 清二（監修），2002. 琉球列島産昆虫目録増補改訂版. 沖縄生物学会，：165.

（野一色麻人 522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学大学院環境科学研究科）